

ココロ、トキメク、ヨッカイチ

広報

よっかいち

yokkaichi

2023

4

April



四日市で共に生きる

- 02 【特集】見えない壁を乗り越える～多文化共生～
08 公共交通のこれから
10 きらり四日市人 杉本沙智代さん

- 11 投稿ひろば / 市長コラム
12 そらんぽへ行こう / 文化財さんぽ





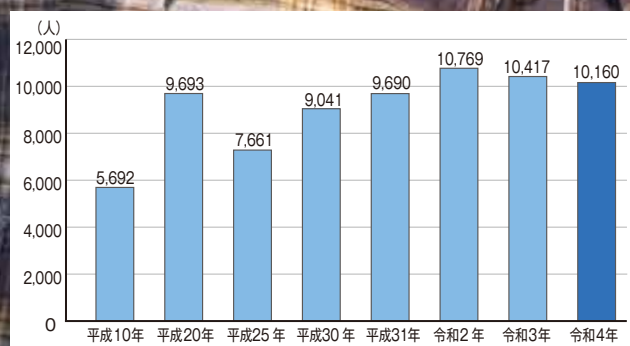
見えない壁を乗り越える

1万1,210人 — (令和4年12月末時点)

これは、本市の外国人市民の人数です。
本市には多くの外国人市民が暮らし、
県内で最多です。
日常生活のさまざまな場面で
日本人と外国人とが関わる機会が増えました。

こうした中一方で、
言葉や文化などの違いを感じていても
「よく分からないから」
「私たちと違うから」
という理由で“壁”を作っていませんか。

本市の外国人市民数の推移 (各年3月末時点)



本市の外国人市民の国籍トップ5 (令和4年12月末時点)



多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築いていこうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

現状と課題

本市の外国人市民数は、平成20年頃まで増加していましたが、リーマンショックに伴う雇用状況の悪化や東日本大震災の影響により減少し、平成27年以降、再び増加に転じています。近年は、グローバル化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響などにより変動しながらも、増加傾向にあります。そして、その国籍は、ブラジルをはじめとした南米諸国から、近年はベトナムやネパールなどアジア諸

国を中心に多様化しており、現在は69の国籍の人が市内に住んでいます。

本市が令和3年3月に行った、「多文化共生に関する市民意識調査」では、多くの外国人市民が日本人市民との交流を望んでいるのに対し、日本人市民の半数以上が外国人市民との交流をあまり望んでいないという結果でした。

また、日本人と外国人の文化や習慣の違いから、ごみの出し

方や騒音に関する問題が起きることがあります。私たちが当然だと思っている生活習慣や地域のルールなどは、外国人からすると分からなかったり知らなかったりするのです。

このように、お互いの文化や習慣などを理解し合っていないことで、お互いのイメージに誤解を生んでしまう現状があります。

多文化共生の実現のために

多文化共生の推進に向けて、市はさまざまな取り組みをしています。

外国人市民への啓発

市役所1階の「外国人市民向け生活オリエンテーション」窓口や笹川にある「多文化共生サロン」で、日本語習得の必要性や日本での生活上のルールなどを啓発しています。このほか、行政情報の提供や地域活動の必要性なども周知しています。

日本語学習への支援

市内には、日本語ボランティアが外国人市民に対し、日本語や日本の文化を教える日本語教室が7教室あります。

地域で開かれている日本語教室は、外国人市民にとって、仕事以外で日本社会とつながる重要な接点の一つです。日本語の学習にとどまらず、日本人市民と外国人市民が「顔の見える関係」を築くなど、相互理解や交流の場となっています。

また、外国人従業員を雇用し

ている企業にも、従業員に対して企業内での日本語教室を実施するよう働きかけています。

外国人が日本の文化やルールを理解するだけでなく、日本人も外国の文化などを理解し、歩み寄ることが大切です。

本市では、地域に暮らす住民同士が、国籍や民族、言葉や文化などの「違い」を認め合い、支え合い、尊重し合う、多文化共生社会の実現を目指しています。

教えることは学ぶこと そして私の生きがい

私は、平成17年から日本語ボランティアとして、外国人に日本語や日本の文化・ルールなどを教えています。もともと、人に何かを教えることが好きで、大学生のときから、近所の中学生に無償で英語を教えていました。3人の中学生から始まり、「この子達が卒業したら…」という繰り返しで、気付いたら30年続いていました。

この指導が一段落した後、四郷地区市民センターで行われていた外国人と交流するサークル活動に参加しました。しかし、外国人市民が多く住む笹川団地からは会場が遠いと感じ、通い

やすいところに交流の場を作るべきだと考え、現在の多文化共生サロンの立ち上げに携わりました。

初めは日本語が全く分からない学習者がほとんどですが、半年後には簡単な会話ができるよ

うになり、その成長を感じられるのがとても嬉しい。そして彼らから学ぶこともたくさんあり、私の生きがいとなっています。もっと日本人が外国人と交流できる機会が増えたら素晴らしいまちになると思います。

多文化共生サロン日本語ボランティア 多村清さん

同じ釜の飯を食う それがまず相手を知る第一歩

私たちは、会社で働く実習生を、直接現地で面接し採用しています。実習生は、日本で働くための研修などを経ているため、当初はある程度日本語を理解できるという前提で接していて、あまり交流をしていませんでした。しかし、異国の地で、不安や孤独感を解消できない状況が続くと、仕事への意欲も喪失してしまうと思い、彼らと距離を縮めるため、まずは一緒に食事をする機会を作りました。食事をする中で会話も生まれ、彼ら自身を知ることができました。そこから、だんだんと彼らに笑顔が増え、仕事も円滑に進むこ

とが多くなり、互いに信頼関係が生まれ始めた実感できました。彼らへの接し方を考えることは、他のスタッフへの指導にも応用できるなど、私たちも彼らからたくさん学ばせてもらっています。このように、私たちが彼らと一緒に勉強をし成長す

ることが会社の成長にもつながります。母国に帰った実習生が日本の良さを広め、働く場として、他の多くの国の中から日本を選ぶ人が増えるという良い循環を作っていきたいと考えています。

(株)リョウシンホールディングス 中古車本部

主任 武良健志さん

次長 藤原暁雄さん

お互いの間にある壁をなくしたい

19年前にブラジルから日本に来ました。日本に来た当初、会社ではブラジルの人としか会話ができません、仕事の指導は通訳を通じて受けていました。でも通訳が毎日いるわけではなく、日

本人に仕事を聞くことができず、辛い思いをすることもあり、日本人と会話がしたいと思っていました。けがをし、働けない期間があったことをきっかけに、多文化共生サロンに通い始めま

した。サロンに通って4年目になり、簡単な読み書きはできるようになりました。ボランティアさんとサロンの皆さんのおかげです。

勤務時間の関係上、日本人との交流の場に参加したくてもできない外国人もいます。困難なことがあってもお互い意見を出し合って皆で解決していけるような交流の機会が増えてほしい。そうして皆が仲良く住めるまちになってほしいです。

ボランティアの皆さん、
多文化共生サロンの皆さん
“ありがとう”

テイシェイラ カバルカンテ イバニルトンさん

私たちはベトナム出身で、日本に来てまだ6カ月しか経っていない人から4年目の人まで一緒に働いています。仕事内容は、自動車のメンテナンスや整備など、中古車を売り出せる状態にすることです。この技術を母国に持ち帰り、母国での仕事につなげられればと思っています。

最初は、日本語の理解が難しく苦労する場面もありましたが、今は、武良さんなどからの優しい指導のもと良い環境で働いています。

日本に来て一番楽しかったことは、伊勢神宮に連れて行ってもらったことです。これをきっかけに、日本各地へ旅行に行き

たいと思うようになりました。

職場で、頼れるお父さんのような存在の人がいること、チームの雰囲気がユーモアにあふれていることで、とても楽しく働いています。武良さんたちの役に立てるよう、もっと仕事に励んでいきたいと思っています。

皆優しくて とても良い会社です

(株)リョウシンホールディングス 中古車本部

ヒエウさん

ダットさん

ティエウさん

ファンさん

やさしい日本語って？

本市に住む外国人市民が増え、その国籍も多様化する中で、外国人市民に情報を伝えたいときに、多言語で翻訳・通訳するほか、「やさしい日本語」を活用することが有効です。「やさしい日本語」とは、外国人にも分かるように配慮して、文法や単語を簡単にした日本語のことです。

使われ始めたのは

平成7年に起きた阪神・淡路大震災で、日本にいた多くの外国人が、日本語を十分に理解できなかったため、必要な情報を得られず適切な行動を取れないまま、多大な被害を受けました。そこで、災害発生時に、日本語が不慣れな外国人にも、素早くて正確に情報を伝えることを目的に考案されたのが「やさしい日本語」です。

誰もが分かりやすい情報提供を目指して

「やさしい日本語」は、災害時だけでなく平常時における外国人への情報提供手段としても研究され、行政からのお知らせや生活情報の発信、観光案内など、さまざまな分野で活用されています。簡単で、より分かりやすい日本語に変換されていることから、外国人だけではなく、子どもや高齢者、障害のある人など誰にとっても有効なコミュニケーションをとる手段の一つです。

やさしい日本語クイズに挑戦！

次の日本語を「やさしい日本語」に変えてみましょう。

level1 ここは通行止めです。

A

level2 広報よっかいちは多言語で配信しています。

A

level3 ごみの分別はきちんとし、指定日に出してください。

A

level4 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は四日市地区自治会の運営につきまして格別のご協力をいただきありがとうございます。さて、定例会を4月25日(火)19時に第一集会所にて開催します。ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようよろしくお願いいたします。

A

- 答え(例)
- 1 ここは通ることができません。
 - 2 広報よっかいちは、英語や中国語、韓国語、タイ語など10言語で読めます。
 - 3 ごみは分けて出します。燃えるごみは○曜日、ビンやカン△曜日です。
 - 4 四日市自治会からのお知らせです。4月25日火曜日に定例会があります。夜7時に第一集会所に来てください。

やさしい日本語のポイント

★情報を整理する

例文 大きな地震が発生するなどした場合、安否の確認、問い合わせなどで電話がつながりにくい状況が起こることがあります。



地震が発生した場合、電話がつながりにくい状況が起こります。

★一文は短くする

例文 婚姻をするときは、役所に届出をし、届出が受理されると、婚姻が成立します。



結婚するときは、役所に「婚姻届」を出します。役所が「婚姻届」を受理すると、結婚が成立します。

★外来語(カタカナ語)はなるべく使わない

例文 スキーム→計画
コンセンサス→合意

★二重否定を使わない

例文 在留カード以外は必要ありません。



在留カードを持ってくるください。

★簡単な言葉を使う

例文 こちらに記入願います。



この紙に書いてください

「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」より抜粋

「やさしい日本語」に正解はありません。相手によって何が「やさしい」のかを考えながら、いろいろな方法を試してコミュニケーションをとっていくことが大切！

お互いが歩み寄る

多文化共生の中心的な役割を担うのは市民の皆さんです。地域に住む市民同士が互いに話し合い、理解し合っていくことが多文化共生社会の実現に向けた一歩となります。市では、お互いが歩み寄り、共生していくことを目指し、外国人が日本語を学ぶ場だけでなく、お互いの言語や文化を学ぶ場を設けています。ぜひご参加ください。

外国人が日本語を学ぶ場

教室名	時	所	問
多文化共生教室	月～金曜日 ① 10:00～11:30 ② 13:30～15:00 土曜日 10:30～12:00	多文化共生サロン	059-322-6811
YIC 日本語サークル	火～日曜日 9:00～17:00	市役所 北館5階	059-353-9955
Viva あみーご	火曜日 19:30～21:00	笹川小学校 視聴覚室	059-394-2407
くすのき 日本語教室	日曜日 9:30～11:30	なやプラザ	090-6077-3331
四日市 日本語サークル	水曜日 19:20～20:45	中部地区 市民センター	090-7911-1610
とみすはら 日本語教室	木曜日 19:00～20:30	富洲原地区 市民センター	059-364-9538
にほんごかふえ	第1・3土曜日 19:00～20:30	三重 YMCA 幼稚園	080-7195-1098

日本人が外国文化を学ぶ場

ネイティブティーチャーと楽しく外国語を学ぶ！(5月16日開講・全10回)

対 16歳(高校生)以上 時 内 ホームページ(HP <https://yokkaichi-shinko.com/yic/>)をご確認ください

所 四日市国際交流センター(市役所北館5階)

申 4月15日～30日までに、受講希望講座名、住所、名前(ふりがな)、日中連絡のとれる電話番号、メールアドレス、語学レベル、受講動機を、往復はがきかファクス、またはEメール(✉ yic@yokkaichi-shinko.com)で、〒510-8601 国際交流センターへ

他 ホームページまたは各地区市民センターで配布する募集案内要項で、詳しい内容をご確認の上、お申し込みください

市からのお知らせを多言語でお伝え

本市では、市内に住む外国人市民の暮らしがより充実したものになるよう、さまざまな方法で情報をお伝えしています。ぜひご活用ください。

Catalog Pocket

カタログポケット

✓10言語に対応しています

【対応言語】日本語、英語、中国語繁体字・簡体字、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語

✓ポップアップで拡大でき、UD(ユニバーサルデザイン)書体で表示されます

✓自動音声読み上げも可能です



四日市市ホームページ 自動翻訳機能



市ホームページでは、掲載情報を外国語へ自動翻訳するサービスを導入しています。現在、英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・韓国語・ベトナム語の6言語に翻訳しています。市ホームページのトップページのヘッダー部にある翻訳ボタンからご活用ください。

始めてみませんか？

日本語ボランティア

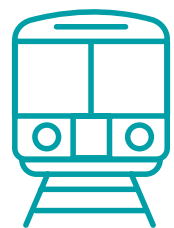
市内の日本語教室で、ボランティアとして日本語を教えていただける人を募集しています。経験や語学力は問いません。

歩み寄る第一歩！

四日市日本語パートナー 育成研修

本市では、共に生きる地域の仲間として、外国人市民の日本語学習を支援し、日本語で交流・サポートする人材を育成する「四日市日本語パートナー育成研修」を毎年行っています。日本語ボランティア活動に関心のある皆さんの参加をお待ちしています。

公共交通のこれから



近年では、人口減少や車社会の進展に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、公共交通の利用が減少しています。生活や産業を支える重要な役割を担う鉄道やバスなどの公共交通は、時代の変化に合わせながらその維持を図っていく必要があります。現在、本市が交通関係者とともに進めている新たな交通施策を紹介します。



まちなかの鉄道・バス・タクシーの乗り換えが便利になります！

本市では、「居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなか」の実現を目指し、中央通りの再編に取り組んでいます。中央通りの車道を縮小することで、歩行者のための空間を大きく確保し、また、近鉄四日市駅東側には、国の事業として「バスタ※四日市」が整備され、県内最大の乗降客数を誇る近鉄四日市駅前に一大交通拠点が生じます。

※バスタ 鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通手段がつながる集約型の公共交通ターミナル



*現時点の計画に基づく整備イメージです

バスタ四日市ができるようになる？

バスタ四日市と近鉄四日市駅やあすなろう四日市駅は円形デッキで結ばれ、誰もが快適に移動できるようにエレベーターやエスカレーターも設置されます。また、近鉄四日市駅周辺のバス停が集約され乗り継ぎが便利になります。さらに、バスタ内には待合施設やカフェを整備し、待ち時間も快適に過ごせるようになります。

公共交通 × 環境

運転手不足の解消や大量輸送による渋滞の緩和、効率的な輸送によるCO2排出量削減などを目指して、車体が二つ繋がっている連節バスを運行しています。令和5年4月からは、環境に優しいEVバスも運行を開始しました。

また、自家用車から鉄道への利用転換を図るために、近鉄阿倉川駅などの駅前広場の整備をしています。

このように、低炭素化の実現に向けた取り組みも進んでいきます。

運行路線

- 連節バス
三岐鉄道(株) 四日市大学線(近鉄富田駅～キオクシア東門前)
三重交通(株) 羽津山線(近鉄四日市駅～キオクシア東門前)
- EVバス
三岐鉄道(株) 四日市大学線(JR富田駅～キオクシア東門前)

連節バス



EVバス



※画像はイメージです

公共交通 × ICT

まちなかの移動手段の充実を図るため、中央通りにおける自動運転の実証実験を進めています。引き続き実証実験を進め、技術的課題を解決しながら中心市街地での導入を目指していきます。また、中央通りでは、(株)シー・ティー・ワイによるローカル5G※の整備も予定されており、これと連携して複数台の自動運転車両の遠隔監視にも取り組んでいきます。

将来は、この技術を郊外部の交通環境の改善にも役立てていきます。

※ローカル5G 地域や産業の個別のニーズに応じて地域の企業や自治体などが、自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築できる5Gシステム

自動運転車両



公共交通 × 福祉

高齢者や運転免許を持たない人などの移動手段の確保が課題となっています。既存の公共交通の維持を図るため、「こにゅうどうくんライナー」※1を運行したり、公共交通の利用が不便な地域で、「四日市市デマンドタクシー」※2を運行したりするなど、公共交通の活用に取り組んでいます。さらに、地域の住民団体が実施している付き添い支援サービスと連携するなど、高齢者や運転免許を持たない人などへの対応の検討を進めます。

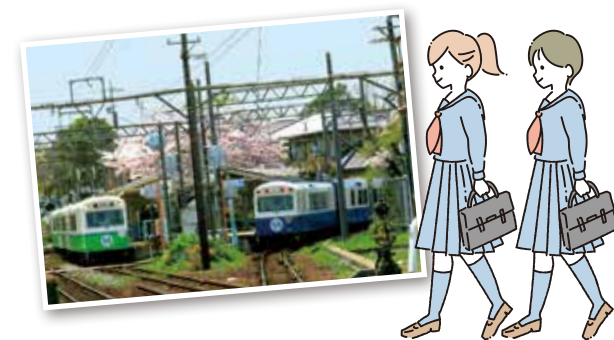
※1 こにゅうどうくんライナー 県立総合医療センターからイオンタウン四日市泊を経由し、小山田病院を結ぶバス路線

※2 四日市市デマンドタクシー 市街化調整区域内の公共交通不便地域にお住まいの人を対象とした予約に応じてタクシーを運行するサービス

公共交通を利用しよう！

公共交通を維持していくためには、市民の皆さん、交通事業者、行政が一丸となって取り組んでいく必要があります。

自家用車への過度な依存を見直し、鉄道・バスなどの公共交通や自転車を利用するなど、ライフスタイルの転換を進めていきましょう。



都市総合交通戦略と地域公共交通計画

これまで紹介した取り組みは、令和4年度に策定した「都市総合交通戦略」と「地域公共交通計画」に位置付けています。

「都市総合交通戦略」は、道路交通を含めた本市の交通を取り巻く課題に対応するための計画、また、「地域公共交通計画」は、より公共交通に特化し、ソフト施策を充実させた計画となっています。

どちらも、地域公共交通の維持・活性化に取り組み、より良いまちづくりを目指す計画です。是非ご覧ください。

詳しくはこちら

○四日市市都市総合交通戦略

検索

四日市市都市総合交通戦略



○四日市市地域公共交通計画

検索

四日市市地域公共交通計画



kirari yokkaichijin Vol.121

きらり四日市人

フランスチーズ鑑評騎士
杉本沙智代さん



令和4年10月にチーズの国際組織から称号を受けた、杉本沙智代さんにお話を伺いました。杉本さんは、鵜の森二丁目のワインショップを夫婦で経営する傍ら、積極的にチーズの魅力を伝えています。

チーズとの出会いと学び

新婚旅行でヨーロッパを訪れ、レストランで初めて味わったナチュラルチーズに魅了されました。当時、日本ではナチュラルチーズは缶入りのカマンベールチーズくらいしか見たことがなく、珍しいものでした。食べることが大好きだったので、純粋に食品として興味を持ち、酒屋を営んでいた夫が店で販売するワインに合うチーズを紹介したいと思いました。夫や義母の後押しを受け、東京で開催されたセミナーに通

って知識を深めました。そして平成12年に発足したチーズプロフェッショナル協会の第一回認定試験に合格し、チーズプロフェッショナルの資格を取得することができました。現在は、ワインアドバイザーの全国大会で日本一になった夫とともに、経営していた酒屋を平成15年にワインショップにリニューアルし、ワインとチーズを専門に扱っています。

国際的な称号を叙位

店頭販売のみならず、セミナーを開催するなどチーズ食文化の普及活動と知識が認められ、平成24年にフランスチーズ鑑評騎士の会から、シュヴァリエという称号を授与されました。これはチーズに携わる人にとって大変名誉ある称号です。昨年は、チーズの国際組織であるギルド・アンテルナショナル・デ・フロマージュ・コンフレリー・ド・サンギュソン協会からも称号を授与され、東京で行われた叙任式に出席しました。

チーズと笑顔のある暮らし

これまでセミナーやチーズ検定の講師を務めたこともありますが、やはり自分で直接お客様にチーズの魅力を伝えることに一番のやりがいを感じます。店では、少しハードルが高く感じる外国産のナチュラルチーズを、小分けにして詰め合わせにし、予約販売しています。いろいろなチーズがあることを知ってもらい、チーズを気軽に楽しんでほしいという思いから始めました。「チーズと笑顔のある暮らし」をコンセプトに、これからも地元四日市を中心にチーズの魅力を伝えていきたいです。



叙任式での杉本さん（右から二人目）



メダルと叙位証



販売する詰め合わせセット。国産チーズも

4月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」でも紹介します。（放送時間は裏表紙へ）



もうすぐ1歳になる娘。初めてこにゅうどうくんと対面しました！(すうちゃんさん)



あみちゃん(右)とまるくんです。仲良しのふたりです♡(あみちゃんばあばさん)



朝焼けと梅の花のコラボレーションです(みさりんさん)



ウオーキング途中で撮影したバラの花です(マドンナさん)



春の訪れを感じさせる、明るい黄色のミモザを見つけました(あんこさん)

市民の皆さんと作るコーナーです。お薦め情報やこにゅうどうくんのイラスト、写真(テーマは自由)をお寄せください。

【応募方法】①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③お薦め情報(200字程度)または作品へのコメント(50字以内) ④写真・画像データ(2MBまで)を、Eメールで、投稿ひろば専用アドレス(✉hiroba@city.yokkaichi.mie.jp)へ



※添削・修正・加工する場合があります

問 広報マーケティング課 (TEL) 354-8244 (FAX) 354-3974 HP ID1580454974466)



ええやん！

四日市市長コラム Vol.24

三重県広報コンクールで特選受賞しました

三重県広報協会が主催する令和4年度三重県広報コンクールにおいて、本市の広報紙などが素晴らしい結果を収めることができました。同コンクールは、県内市町の広報技術・情報発信力の向上を図ることを目的として毎年開催されています。

広報紙部門(市部)では、広報よっかいち8月上旬号が特選を受賞しました。この号では性の多様性が認められる社会の実現の手助けになればと、LGBTを特集のテーマとして取り上げました。紙面では、LGBTの当事者に自らの体験などを語っていただいています、このことがLGBTを真正面から改めて取り上げ、理解を深め広げたいという強い思いが表

現されていると評価されました。

また、映像部門では、「～土を操り土を生かす～左官職人の挑戦」(「よか*イチ!」令和4年10月・三重テレビ放送)が特選を受賞しました。番組では、本市出身である左官職人の高度な技術はもちろんのこと、海外でも左官の技を披露し、アート壁の個展を開催するなどの新しい挑戦や、本市のふるさと納税の返礼品にもなっている「野菜蔵」を紹介しました。

今後も、市民の皆さんに確実に行政情報をお届けするとともに、市内外に向けて本市の魅力を積極的に発信していきたいと思っています。

牧野富太郎が見た四日市



そらんぽ四日市
ホームページ

このほど楠交流会館に保管されていた古い植物標本970点が当館に移管されました。その内912点は、今から約120年前の明治35（1902）年から明治37（1904）年にかけて、四日市ゆかりの植物研究者今井^{くめぞう}桑蔵が同僚の植松栄次郎の協力や「日本の植物学の父」牧野富太郎の指導を受けて製作したものです。標本自体の劣化は見られますが、手書きのラベルには「牧野富太郎博士命名」というスタンプを押したのもあり、大変貴重なものです。

そこで、当館では朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルとなった牧野富太郎と本市の関わりを紹介

するとともに、市内で採集された標本を選んで当館3階常設展時空街道内「白里亭」で5月7日まで展示します。

また、ミュージアムショップでは、牧野富太郎の出身地である高知県にある高知県立牧野植物園の協力を得て、さまざまなグッズも販売しますので、ぜひご来館ください。



展示イメージ

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

川を横断する水路!? 三十三間筒^{さんじゅうさんげんどう}

環境省選定の名水百選に選ばれたこともある桜地区^{ちしやく}の智積養水ですが、このきれいな水はどこからどうやって流れてくるのでしょうか。

智積養水の水源は、北方へ1.8km離れた菰野町神森の「蟹池」です。現在、3～4m四方の小さな池ですが、鈴鹿山脈からの伏流水が湧き出し、とてもきれいな水をたたえています。

昔から水不足に悩まされていた智積村の水田を潤すために、蟹池からの用水路（智積養水）が計画されましたが、間に流れる金溪川^{かんだに}を越えて水を運ぶ必要がありました（金溪川には安定した水量がなかったようです）。その方法と

して行われたのが、川底に埋樋^{うめとい}（四角い筒状に組んだ水路）を置くというものでした。当初は木製で、正徳元（1711）年に石製に変えた『智積村地誌』にあります。その長さが33間（約60m）なので、三十三間筒と呼ばれました。

智積養水として実現した人々の思いや技術は今も引き継がれていて、さらに私たちに心の潤いも与えてくれます。水路の護岸にも歴史が感じられ、散策にお勧めです。



三十三間筒の出水側

☎ 文化課 (TEL) 354-8240 (FAX) 354-4873

<製品リコールのお知らせ>

積水化学工業株式会社

セキスイ製ポータブルトイレ座楽 背もたれ型を探しています



身体の一部をはさむ恐れがあります

転倒などの際にひじ掛けと背もたれのすき間に首などをはさまれた事故が発生しました。対象製品は、**無料で新しい安全な製品と交換**させていただきます。

この部分に
**約10cmの
すき間が
あります。**



約20年前の製品です

ポータブルトイレ 座楽SP/SDシリーズ
販売時期 1996年10月～2002年6月



※対象商品の一例

リコール商品回収のお願い



対象品の一例

**1996年～2002年の
積水製品を今も保管されていませんか？**
**積水製ポータブルトイレをお持ちの方は
無料で改良品と交換します**



約10cmのすき間に首などを挟まれる危険あり

発見例



- ☒ 押入れ
- ☒ 倉庫
- ☒ 車庫

お問合せは
こちら



0120-011-578

受付時間／9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

積水化学工業株式会社 東京都港区虎ノ門2-10-4

積水ポータブルトイレ 検索



Western Digital

SanDisk

SanDisk
PROFESSIONAL

WD

WD_BLACK

ここ四日市から。
世界に幸せな記憶を。ウェスタンデジタル



Western Digital, Western Digital logo, SanDisk, SanDisk Professional, WD_BLACK, WD Gold, SanDisk Extreme PRO は、米国及びその他の国における Western Digital Corporation またはその関連会社の商標です。SD-C のマーク及びロゴは SD-3C, LLC の商標です。その他の商標も特定の目的のために使用されるものであり、各権利者によって商標登録されている可能性があります。
©2022-2023 Western Digital Corporation or its affiliates. All rights reserved. 三重県四日市市山之一色町800番地 TEL0466-98-4044

市の情報発信 4月



テレビ

CTY (地デジ12ch)

- ▶「ケーブルNEWS」内
市政コーナー
時 4月14日・28日 18:00

- 人口 309,051人
[2月末日現在(前年比-473)]
- 火災件数 8件
[2月分(前年比+1)]
- 交通事故件数 732件
(2月分)

友だち 募集中



四日市市
LINE
公式アカウント



@yokkaichicity

ラジオ

CTY-FM (FM76.8MHz)

- ▶マンスリーよっかいち
時 第1・3・5回 8:54/14:54
- ▶よっかいち わいわい人探訪!
時 第2・4回 8:54/14:54
- ▶ALO! YOKKAICHI
時 土 19:54
- ▶なるほど! 防災
時 月 17:30/土 8:30
- ▶人権を確かめあう日
時 毎月22日(4月は、7:54/
10:54/13:54/18:30)

東海ラジオ (FM92.9MHz/AM1332kHz)

- ▶1・2・3 四日市メガリージョン!!
Rock!
時 土 20:00

ウェブ/アプリ



ホームページ

- ▶四日市市ホームページ

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



広報紙

- ▶マチイロ ▶マイ広報紙



「よっかいち」
で検索

- ▶カタログポケット



- 自動翻訳機能(英語、中国語、
ポルトガル語など10言語)
- 自動音声読み上げ機能

SNS

- ▶Facebook ▶twitter



- ▶YouTube ▶Instagram



編集後記

特集に関するこぼれ話

コンビニエンスストアや飲食店などで、日本人以外の人に対応してもらう機会が増えましたよね。異国の地で、母国とは違う言語、違う習慣、違う文化の中で生活する上で、不安や寂しさなどを抱くことは容易に想像できます。そんな中、自ら教室や集まりに飛び込み、日本のことを知ろうとしている人がいて、また逆に、外国人との懸け橋になっている人がいます。取材に応じていただいた皆さんからは、お互いが思いやりの心を持ち、理解し合おうとしていることが伝わってきました。

表紙裏の写真には、四日市大学の学生二人に協力いただきました。二人は、同じ活動団体に所属

していて、学年は違いますが仲良しなようです。スリランカ出身のディルシャーンさんは、約2年前に来日し、それまで日本語には触れてこなかったそうですが、今ではとても流暢な日本語を話し、今年度は活動団体の副部長を務めているそうです。この日本語の習得の速さは、相当努力したのだらうなと感心しました。



皆さんも交流の場に気軽に参加するなど、まずはお互いを「知る」ことから始めて、自らの世界を広げてみませんか。(山中)